

THE ROTARY CLUB OF NAGOYA WAGO 名古屋和合 WEEKLY 2760 地区 REPORT

Reach Within to Embrace Humanity

こころの中を見つめよう 博愛を広げるために

2011-2012年度 国際ロータリー会長 カルヤン・パネルジ



2011-2012年度 会長 天野清美 幹事 端山佳誠 クラブ会報委員長 亀井敏勝

創立/1972年3月15日 例会日/水曜日 12:30~13:30

例会場/ウェスティンナゴヤキャッスル 名古屋市西区樋の口町3-19 〒451-8551

TEL 052-523-1998 FAX 052-531-0727

2011 July 13

■ 2011 ~ 2012 年度方針

「学び、楽しみ、育てようロータリー」

NO.2

例会報告

- 第1906回例会 平成23年7月13日(水) 晴
- 7月はロータリーを考える月間
- ロータリーソング 我等の生業
- 出席報告 会員 100 名中 出席63名
(91)
出席率69.23% 修正出席率91.49%
(6月29日分)

● ビジター紹介

各務 修君 (名古屋北RC) 外1名

● ゲスト紹介

- ・ ゲストスピーカー
国際囲碁連盟事務局長 重野 由紀さん
- ・ 関君ゲスト 久保 哲政氏

● ニコボックス

「本日の卓話者、重野由紀さんを歓迎します。」

安井信之君

「重野さんの卓話を宜敷お願い致します。数10年前初心者の私に親切にご指導を頂きました。」

宮下幸二郎君

「重野先生、いや大師匠本日はありがとうございます。ヨーロッパでの囲碁普及活動、お疲れさまでした。私も由紀ちゃんの厳しいご指導で少しは強くなったかも…」

岩田玄知君

「御園サービスの各務さんようこそ和合クラブで楽しんで行って下さい。」

端山佳誠君

「7月7日、七夕の日に何の因果カリゾートトラストの伊藤勝康社長を講師にお願いして勉強会を開催致しました。若い会員メンバーを中心に大いに盛り上がりました。幹事の間地さん御苦勞様でした。又伊藤社長大変貴重なお話しとワインをありがとうございました。」

天野清美君

「7月7日第2回経営勉強会が開催されました。今回は、伊藤勝康さんを講師に迎えカリゾートトラスト本社会議室で経営の秘訣について勉強させて頂きました。参加者20名(内未会員4名)伊藤勝康さん本当にありがとうございました。」

間地 寛君、黒田史郎君、山田明紀君
赤瀬宏司君、川中有志君、中川信治君
田中知克君

本日のニコボックス	6件	30,000円
累 計	20件	197,000円

端山幹事報告

▽ 当クラブ行事予定

- ・ 7月20日(水) 18:00~ 納涼夜間例会
(ウェスティンナゴヤキャッスル)
- ・ 7月27日(水) 例会終了後
クラブアッセンブリー
* 理事、役員、各委員長のご出席をお願い致します。
委員長ご欠席の場合は代理の方のご出席をお願い致します。
- ・ 7月30日(土) プラネタリウム見学(8月3日を変更)
* お返事のない方は至急事務局へお願い致します。
- * ホテルの空調工事により7月13日より8月初旬まで、事務局が625号室へ移動となります。

天野清美会長挨拶

“ひこばえ”

一月程前、ある雑誌を読んでいた時にちょっとしたエッセーとそのタイトルが目にとまりました。今日はそのお話を御紹介させて頂きます。

御承知の方も多いと思いますが私は「ひこばえ」という言葉を初めて目にし、もちろん意味も全く分からなかった。早速、ウェブで検索致しました。

そこには「ひこばえ」とは樹木の切り株の所から新しく生えてくる若芽の事、眠っていた芽が起きたもの、水分や養分の吸収力があり成長が早いと書かれ、太い幹に対してその若芽を孫(ひこ)に見立てて生える様子を「孫生え」というのだそうです。

春から夏にかけて多く見られるが俳句では春の季語となっているそうです。文中では古木であろうとそれが切り倒されるなど不慮の死を遂げそうになると「ひこばえ」を出して子孫を残そうとすると言われる、とありますが親から子、そして孫という継承ではなく木の場合は細胞そのものが再生していくそうです。

続いて少し長くなりますが文章を引用させて頂きます。

倒れた桜の古木から小さな「ひこばえ」が天を目指して伸びているのを見たのです。光が射す方に向かって伸びようとする姿を、幹は折れ伏してもなお

伸びる方向を知っていた、何本もの小さな「ひこばえ」が天を目指して芽吹き、自分達の出番が来る迄、乏しい力をためていた。

日本人って、みんなで気持ちを共有したい、みんな一緒でありたいという所があるけれども、災害というのはその「みんな一緒、平均的な」というものを失うこと、日本全国でこの災害を少しずつ分け合えればいいのですがそれができないのが災害だと思います。

そういう意味でいくら言葉を尽くしても尽くし足りないし、その痛みは消えない気がします。

目を向けていくべきなのはそこから立ち上がろうとする被災者の方々の力、明日に向かっていこうとする私たちみんなのエネルギーではないでしょうか。

被災者の中に生まれる、光を目指す「ひこばえ」のような心情にこそ希望の灯があるという事だ。

文書はまだ続きますがこの一文を読んで改めて東日本大震災に遭われた人々の御気持ちに想いを馳せると共に「ひこばえ」といういかにも日本的な言葉が東北の被災者の内なる心に寄り添った良い表現をしているなど感心致しました。

「みんな一緒」よりひとりひとり「みんなそれぞれ」できる事を小さな「ひこばえ」となって天を目指して芽吹くことが大切だと教えてもらえたような気がします。

卓 話

世界に広がる日本文化—囲碁

重 野 由 紀



職歴

公益財団法人日本棋院 棋士二段、国際囲碁連盟 事務局長 (2006年～)、NPO法人トップポリリーノ 副理事長 (2010年～)

経歴

1978年 中部総本部、島村俊廣九段に入門、内弟子に入る。

1986年 入段 (プロ入り)

1994年二段

1997年 イタリア、ミラノを拠点に海外の囲碁指導に携わる。世界35カ国を指導に回る。

2006年 日本帰国、国際囲碁連盟 (IGF) 事務局長に就任。

2010年 NPO法人トップポリリーノ設立、子供を中心に囲碁普及活動に努める。第16回広州アジア大会に初めて囲碁が正式種目に取り上げられ、上部団体として大会運営に関わる。

囲碁ルールを知らない方はいらっしゃると思いますが、囲碁そのものの存在はみなさまご承知のことと思います。4000年ほど前に中国で発祥したといわれ、日本には飛鳥時代の6世紀、人や物の交流が盛んになるに併せ、宗教や書などの文化伝来の一つとして伝わりました。

今から87年前、1924年明治の終わりにプロ組織する団体として日本棋院が誕生しました。その後、60年ほどは日本が世界のトップを極め中国、韓国に指導に向いた時代もありましたが、現在では両国に抜かされ日本はナンバー3が定位置になっています。

国際囲碁連盟は今から30年前に日本で設立されました。現在71カ国と地域がメンバー、会長は中国の政府系大手投資会社CITIC常振明氏。世界の囲碁人口は4000万人と言われています。意外に日本では知られていないことですが、海外では囲碁=Goと呼ばれています。ちなみに国際囲碁連盟の正式名称は「International Go Federation」略称IGF、よく“ゴルフ”と間違われますが、これは100年以上前から日本が先頭をきって囲碁の国際普及に努めてきた結果にあります。

このため海外でも日本の囲碁用語が頻繁に使われます“ダメ”、“アタリ”、“おねがいます”など。言葉はその国の文化の象徴ですから、囲碁が海外に広まることは同時に囲碁を通して日本文化が世界に広まることにつながっていると思います。

日本文化といえば近年、新日本文化として海外で注目を集めているのが“マンガ”、“アニメ”です。10数年前に大ヒットしTVアニメにもなった囲碁を題材とした『ヒカルの碁』というマンガは、そののちフランス語、英語、ドイツ語、イタリア語、タイ語、などいろいろな言語に翻訳され海外市場に回ったことから、マンガを通して海外で特に若い世代で囲碁が広まるきっかけになっています。

また昨年広州で開かれた第16回アジア大会でマインドスポーツとして初めて囲碁がチェス競技の一つとして、正式競技に取り上げられ注目を集めました。男女団体、ダブルスの3種目のうち日本は男子団体の銅メダルが一つだけ、韓国が3種目で金メダル、中国はすべて二位の銀メダルという結果は今のプロ囲碁界の現状でもあります。

文化として、マインドスポーツとして、勝負として、いろいろな側面をもつ囲碁ですが、これだけ世界で受け入れられる魅力の一つとしては、囲碁を通して生まれる交流=相互理解にあります。「無縁社会」という言葉が囁かれる昨今ですが、囲碁を通して日本はもとより世界中に友達の輪が広がる、そうしたお手伝いを今後も続けたいと思っています。

例会	月日	今後の予定
第1907回	7.20	出席100%表彰 納涼夜間例会 18:00～ ウェスティンナゴヤキャッスル
第1908回	7.27	西川流家元西川右近氏 「おどりで筋力強化」
第1909回	7.30 (土)	プラネタリウム見学 8.3 (水) 例会変更

○このウイクリーは再生紙を使用しております。